

## 建設報道

週刊 ワークス

## WORKS

大分市大字光吉1015番地12 TEL 097-567-0324 FAX 097-569-7994 E-mail: info@eworks.jp

月間購読料 ¥6,380 税込み (FAX・メール情報サービス込み) HPアドレス: http://eworks.jp/

2024.5.3 加

毎週月曜日発行  
発行元 (有)サムライズ

ご購読者様にお得なお知らせ

週刊紙をご購読の方

建築速報が無料です!

まる 配信日 週3回 月水金  
メール配信のみお申込み  
お問い合わせは  
097-567-0324

祝日以外の毎週月・水・金の3回メール配信となります。

※FAX版は有料となります。

※ご購読にはお申し込みが必要です。

今週の特集 ◆ 5年

2024年(令和6年)5月20日 月曜日 第1364号

(第三種郵便物許可) (23)

## 週刊 WORKS

カワラ版

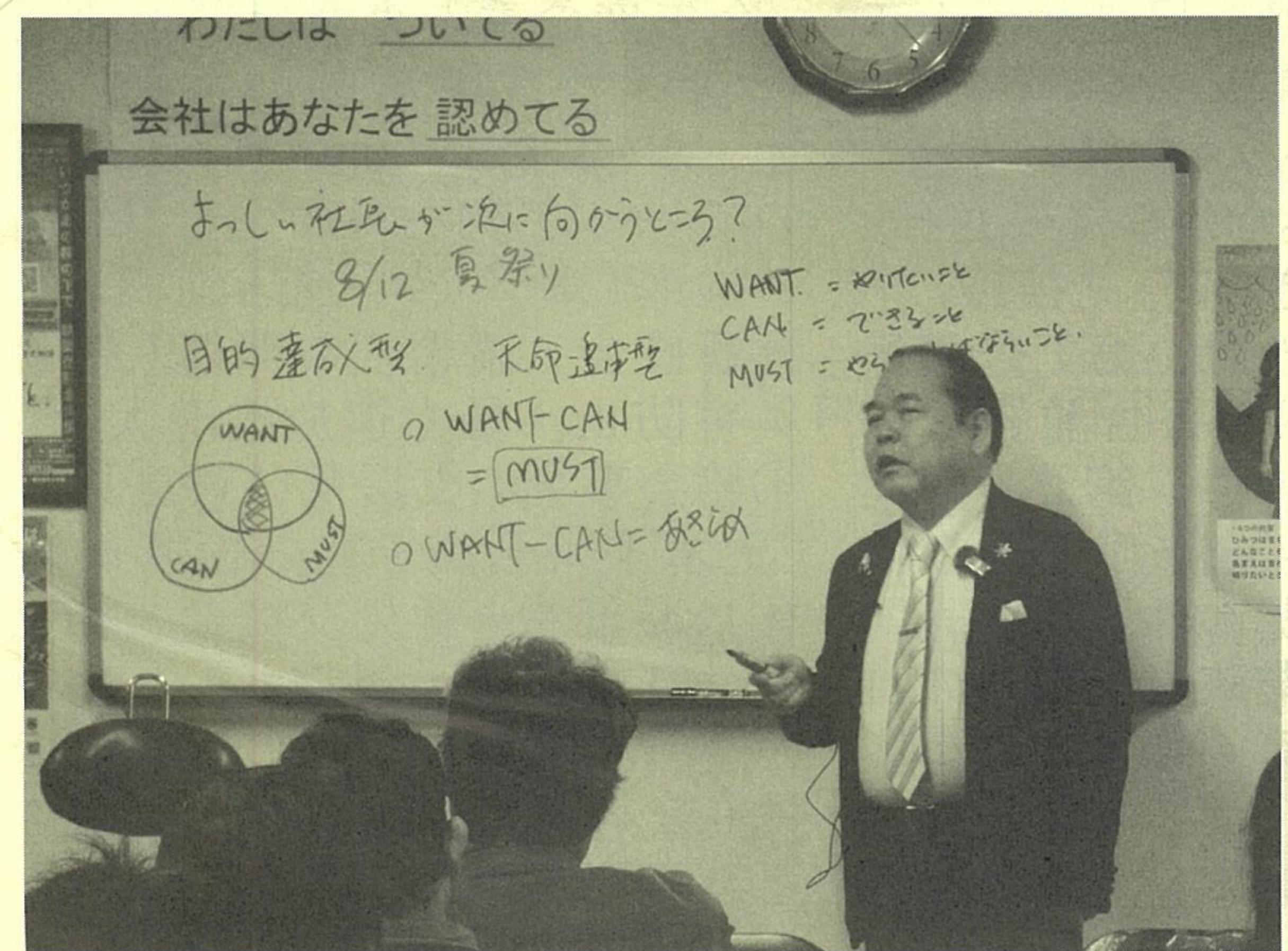
清松総合鐵工

## 「よっしい社長が次に向かうところ」

5月度月初の朝礼の社長講話

清松総合鐵工(株) (清松芳夫代表取締役社長、本社: 宇佐市大字尾永井470-1)は5月1日に「5月度月初の朝礼」を同社社屋一階朝礼広場で開催し、一般ゲストも25名が参加。

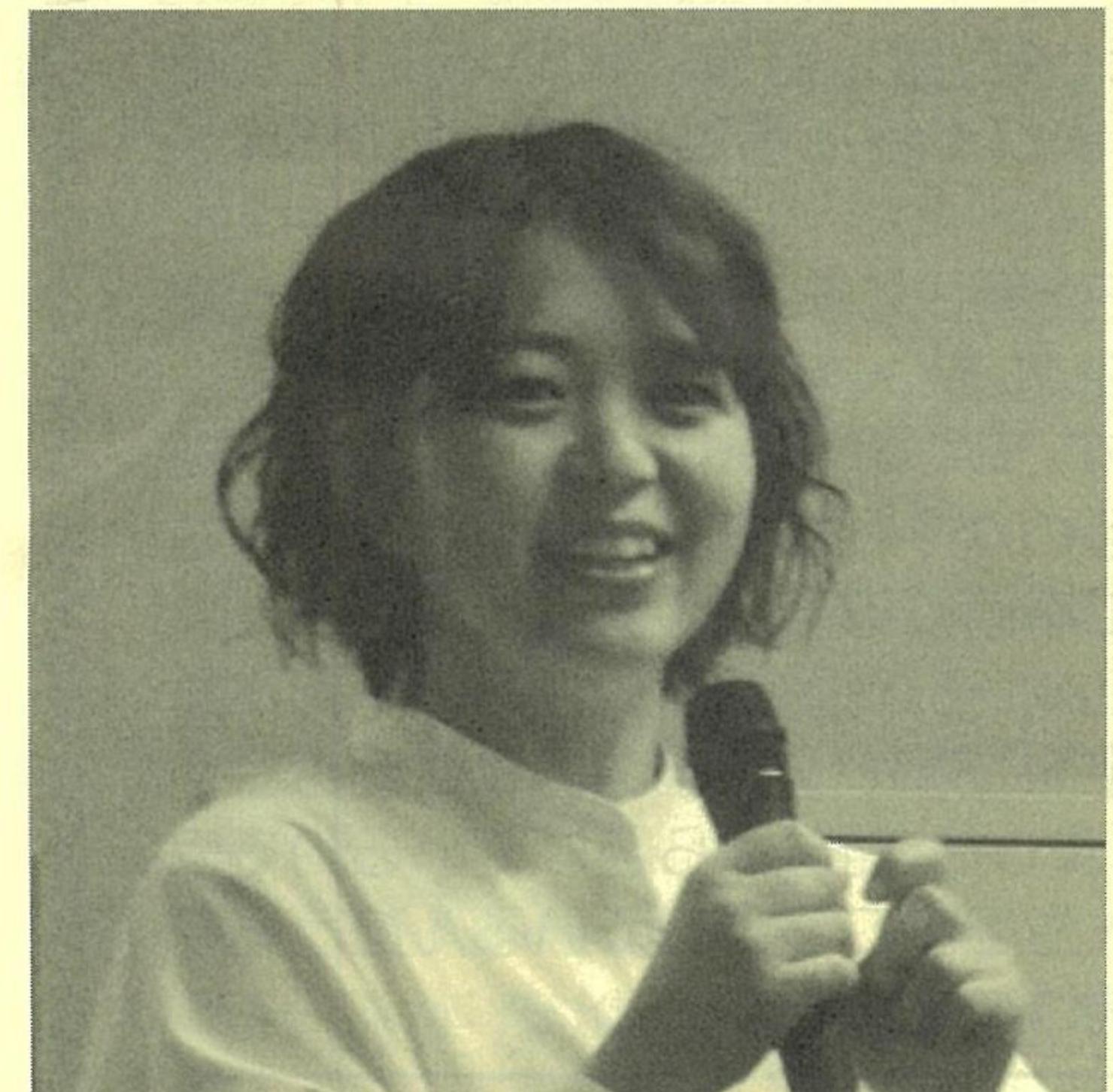
## 東北社員旅行や8月夏祭りイベント紹介



&lt;講話する清松社長&gt;

月の初めに毎月行っている「清松総合鐵工月初の朝礼」は、まずは「ハイタッチ運動」から始まる。清松社長はハイタッチとは一番ハードルの低いスキニシップであると言った。日本人は照れもあるからなかなかハグや握手などできない。しかし、ハイタッチであればあまり抵抗がないと思われるので、人間関係におけるスキニシップの必要性を認識している清松社長は丁寧に「おはよう」と一人ひとりに声を掛けながら「ハイタッチ運動」を行っている。

「職場の教養」(5/1付)の朗読



&lt;中島樹里 coconiko 代表&gt;

ろ」について「舞台『桜の下で君と』や『東北周遊社員旅行』など、次々に新たな目標に挑戦を続ける清松社長ですが、足掛け3年かけて成功させた大きな目標を達成し一段落だと思います。お疲れ様でした。ところで清松社長が次に向かうところや考えているイベントなどあれば教えて下さい」と質問。清松社長からは「8月12日に清松総合鐵工株式会社夏祭りイベントを行うことが紹介された。

社長講話では、目標達成するため必要な考え方を2種類の型に分けて説明。①目標達成型と②天命追求型。①目標達成型の特徴は、WANT(やりたいこと)・CAN(できること)・MUST(やらなければならぬこと)の3つの円が交わるところを目標に定めて、その達成するために努力するタイプである。よって努力を怠らなければ目標達成の可能性は高い。それに対し、②天命追求型は、数式で現わせば WANT - CAN = MUSTとなる。あくまでやりたいこと(WANT)が主体で、できること(CAN)がどうであれ、その差はやらなければならぬこと(MUST)と考える。それゆえ、天命追求型は WANT と CAN の差が大きい場合は、WANT - CAN = 「あきらめ」となる場合が多く、その目標達成の可能性は低くなる。

清松社長は「自分は天命追求型」と言い、目の前の問題を解決することに集中しているうちに、自分でも想像もしていなかったような人生になったと話す。しかし、WANTが主体である限りそれは決してイヤな人生ではないという。たとえば自分が目標達成型ならば、若い頃の WANT や CAN の中にラジオパーソナリティという選択肢はなかった。しかし、目の前にことに集中しているうちにいつしかラジオで話したり、講演をしたりするようになっている。不思議だけどイヤではない。これが天命追求型である証明だと話す。

目的達成型と天命追求型でどちらかが勝れているということではない。但し、自分がどちらの型かを見誤ると、その人生はフラストレーションを抱えてしまう。天命追求型である人が目標達成型を選んでしまうと、何をやってもヤル気が無く、自分の目標とする人生を掴めず、エフィカシーが低く苦しくなってしまう。その逆もまた在りうるだろう。目標達成型の人が天命追求型の人生を選ぶと、何もかも中途半場になつて自分を責めてしまう。あなたはどちらの型か? 今一度考えてみてはいかがでしょうか?

国土交通大臣認定 H グレード

信頼のファブ  
**清松総合鐵工株式会社**  
Kiyomatsu Steel Structure co.,ltd.

代表取締役社長 清松 芳夫  
(Yoshio Kiyomatsu)



&lt;東北周遊社員旅行&gt;